

## 0歳～9歳の子供を持つ男女1,000名に聞いた「子供の写真」に関する意識調査 8割以上が「写真データの整理・管理に不便・面倒を感じている」と回答

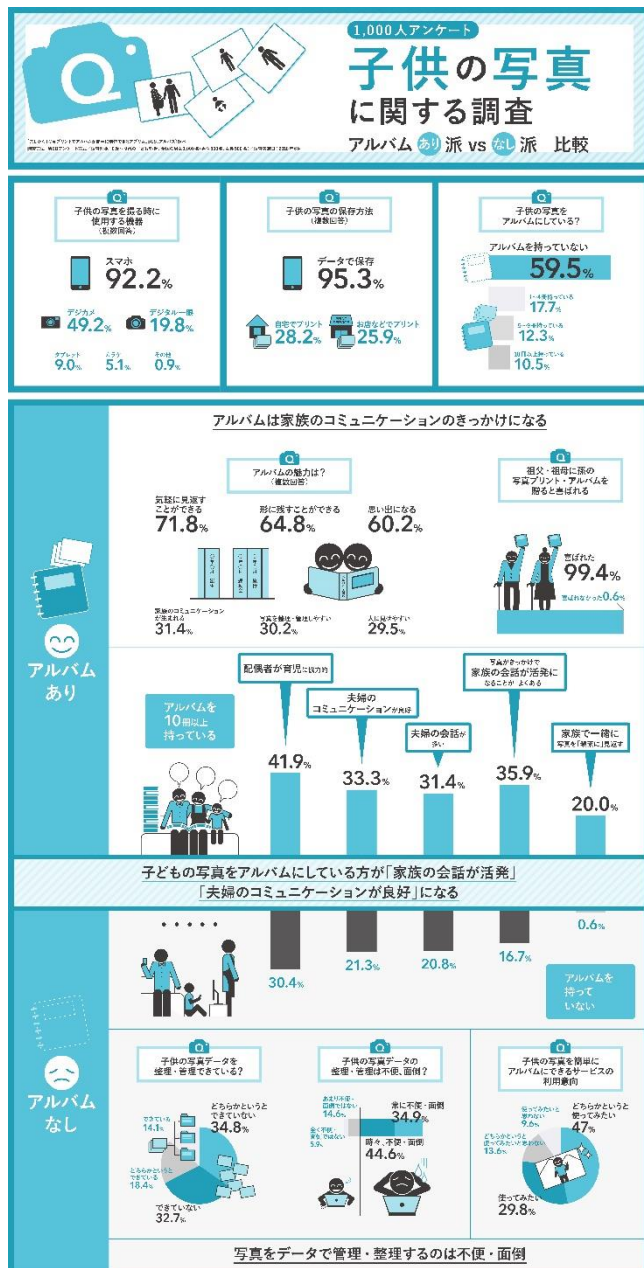
### 子供の写真をアルバムにしている方が「家族の会話が活発」 「夫婦のコミュニケーションが良好」。その差は10ポイント以上！

#### 保育学の専門家 大阪教育大学・小崎准教授の見解 「青年期のアイデンティティー確立に、写真やアルバムは大きな役割を果たす」

「まじかく」写真プリントでアルバムが簡単に制作できるアプリ「ALBUS (アルバス)」は、子供の夏休みに合わせ、0歳～9歳の子供を持つ男女1,000名を対象に「子供の写真」に関する意識調査を実施いたしました。

また、本調査結果をもとに、保育学、児童福祉学、育児学の専門家である、大阪教育大学の小崎恭弘准教授に「アルバムと子育て」の影響についても見解を述べていただきました。(本リリース末尾)

※本リリース内容を掲載いただく際は、出典「ALBUS (アルバス) 調べ」と明記をお願いいたします。



### 調査サマリー

- ・9割以上が子供の写真をスマホで撮影し、「データ」で保存。
- ・約6割の人が「アルバムを作っていない」

子供の写真をアルバムにしている人の方が「家族の会話が活発」「夫婦のコミュニケーションが良好」。その差は10ポイント以上！

#### ■アルバムを作っていない人

- ・6割以上が子供の写真データをきちんと整理・管理できていない。
- ・約8割が「不便・面倒」と感じている。

#### ■アルバムを作っている人

「子供が大きくなった時に、一緒に見ることができる」など、アルバムは家族コミュニケーションのきっかけになると回答。

### 調査背景

デジタルカメラやスマートフォンでの写真撮影が主流となる昨今、プリント写真や紙のアルバムで子供の写真を楽しむ機会が、昔に比べて少なくなっています。その一方で、アルバムにアナログならではの魅力を感じている方もおり、アルバムが育児や家族関係に与える影響についても専門家による研究が進んでいます。

そこで今回は写真を撮る機会が増える「夏休み」に合わせ、小さい子供を持つ親御さんを対象に、写真管理・整理の実態や、写真と家族のコミュニケーションなど、「子供の写真」に関する意識調査を実施いたしました。

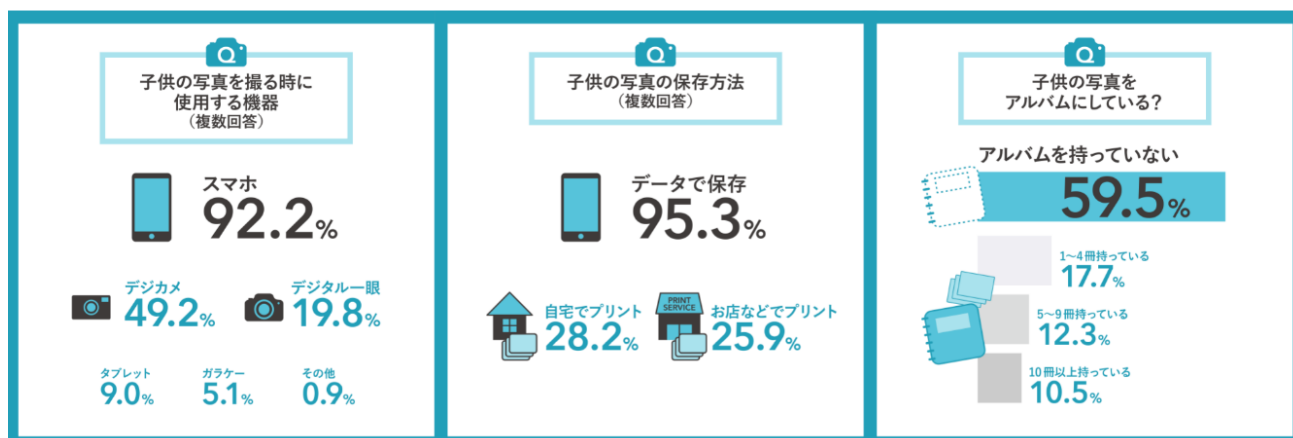
【お問い合わせ】ALBUS PR 事務局 (株式会社オンヨミ)

MAIL : albus-pr@onyomi.jp TEL : 050-3743-0062 (中嶋) / 050-3701-2155 (漆畑)

【ALBUS 公式サイト】 <http://albus.is/>

## 【写真の撮影・保存方法】

**9割以上が子供の写真をスマホで撮影し、「データ」で保存。  
約6割の人が「アルバムを作っていない」ことが判明。**

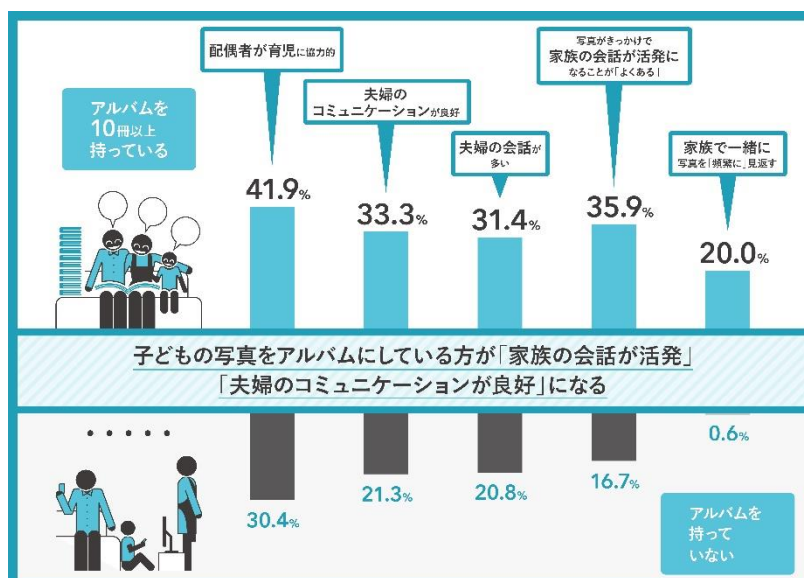


子供の写真を撮る機器については（※複数回答）、第1位「スマートフォン（92.2%）」、第2位「コンパクトデジタルカメラ（49.2%）」、第3位「デジタル一眼レフ（19.8%）」という結果に。**9割以上がスマートフォンで撮影**しており、2位以下と大きな差がありました。スマートフォンでの写真撮影がメインとなるためか、写真の保存方法については**95%以上の人**が「データで保存」と回答しました。

子供の写真をアルバムにしているか尋ねたところ、なんと**約6割の人が「アルバムを作っていない」**という結果に。昔は当たり前だった「子供の写真アルバム」を作ることが、現代ではデジタル化に伴い少なくなってしまうようです。

## 【子供の写真アルバムと夫婦・家族コミュニケーション】

**子供の写真をアルバムにしている方が「家族の会話が活発」「夫婦のコミュニケーションが良好」。**  
**アルバムを10冊以上持っている人とアルバムを作っていない人の差は10ポイント以上！**



子供の写真アルバム有無と、夫婦・家族のコミュニケーションの相関を分析しました。

家族コミュニケーションに関しては、「家族で写真を頻繁に見返す」と答えた人が、アルバムを10冊以上持っている人は20.0%、アルバムを作っていない人は9.2%。「写真がきっかけで家族の会話が活発になることがよくある」人は、アルバムを10冊以上持っている人が35.9%、アルバムを作っていない人は16.7%と、いずれも大きな差が出ました。**子供の写真をアルバムにしている方が、家族間での会話やコミュニケーション、ふれあいが活発**という結果となっています。

【お問い合わせ】ALBUS PR 事務局（株式会社オンヨミ）

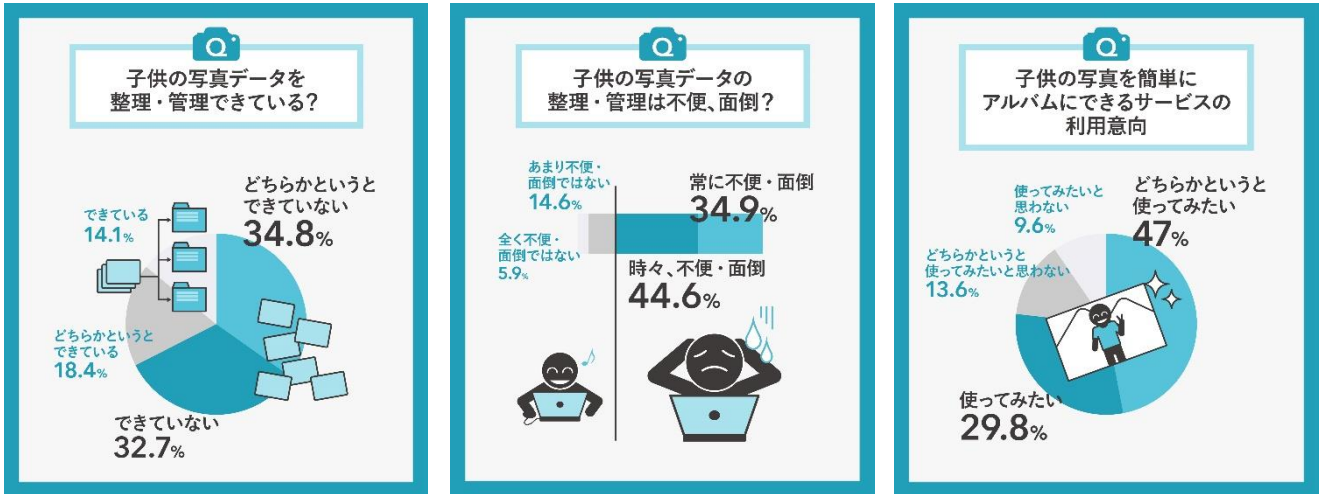
MAIL : albus-pr@onyomi.jp TEL : 050-3743-0062 (中嶋) / 050-3701-2155 (漆畑)

【ALBUS 公式サイト】 <http://albus.is/>

また、夫婦間のコミュニケーションについて、「夫婦の会話が多い」「夫婦のコミュニケーションは良好」「配偶者は育児に協力的」という項目で尋ねたところ、アルバムを10冊以上持っている人のほうが、アルバムを作っていない人よりも10ポイント以上スコアが高い結果となりました。  
子供の写真をアルバムにしている方が、夫婦間のコミュニケーションも良好なようです。

【アルバムを作っていない人の実態】

**6割以上が子供の写真データをきちんと整理・管理できておらず  
 約8割が「不便・面倒」と感じている。**

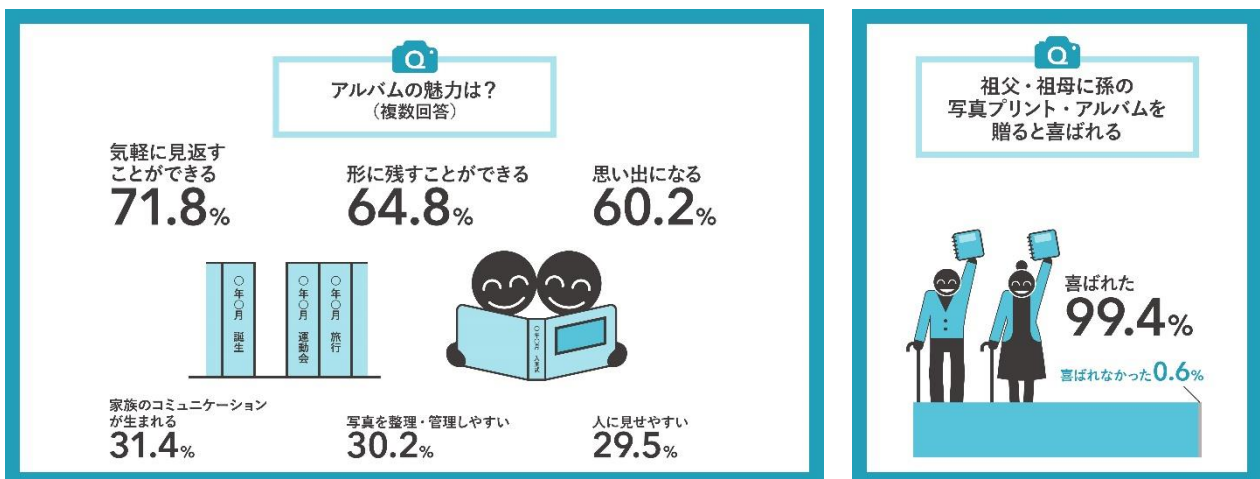


全体で約6割も存在した「子供の写真アルバムを作っていない」人の現状にフォーカスすると、子供の写真データの整理・管理については、「どちらかというのできていない(34.8%)」「できていない(32.7%)」と、6割以上ができておらず、約8割が写真データの整理・管理について、不便・面倒と感じていると回答しています。スマートフォンの普及で、撮影する写真の枚数が膨大となっているためか、アルバムを作っていない人は、せっかく撮影した写真を上手く整理・管理できていないという悩みを抱えています。

そんな中、「子供の写真を簡単にアルバムにできるサービスがあったら、利用してみたいか？」という質問については、76.8%が「使ってみたい」「どちらかというのできてみたい」と回答。本当はアルバムにしたいのにできていないという実態も浮き彫りになりました。

【アルバムを作っている人の実態】

**「子供が大きくなった時に、一緒に見ることができる」など  
 アルバムは家族コミュニケーションのきっかけになる**



【お問い合わせ】ALBUS PR 事務局 (株式会社オンヨミ)  
 MAIL : albus-pr@onyomi.jp TEL : 050-3743-0062 (中嶋) / 050-3701-2155 (漆畑)  
 【ALBUS 公式サイト】 <http://albus.is/>

## Q.アルバムの魅力を感じたエピソード（自由回答）

### ①時系列に見ることで子供の成長を実感

- ・子供の月齢ごとの写真をアルバム化したことで、娘の成長が手に取るようにわかり、アルバムにして良かったと思いました。（45歳・男性）
- ・久しぶりに、赤ちゃんだった時の子供の写真を見ると、成長が感じられて当時のことを振り返ることができる。（43歳・女性）

### ②子供が大きくなった時に、一緒に見ることでコミュニケーションが生まれる

- ・いま小学生の長男はもうだいぶ話も分かるので、自分が赤ちゃんの頃の写真を見ながら、私が赤ちゃんの頃のエピソードを話して一緒に爆笑したりできています。（38歳・女性）
- ・子供が大きくなってから、自分が赤ちゃんの頃のアルバムを見返した時に、『赤ちゃんの時からこんなにパパとママが可愛いがってくれてたんだね。うれしい、ありがとう。』と言ってくれたことが本当にうれしく感じました。（31歳・女性）

### ③回答者自身が、両親にアルバムを作ってもらって嬉しかった経験

- ・自分の小さい頃の写真を親が撮ってくれていて、その時に感じたことなどを記してくれていた。その時の親の気持ちが知られて嬉しい。（30歳・女性）
- ・父が余命宣告をされた時、悲しかったが、あらためて家族でアルバムを囲んで楽しく語り合えた。今はそのアルバムを見ると、写真だけではなくその最後の語らいが思い出になっている。（40歳・女性）

### ④コメント、コラージュ等のアレンジができる

- ・写真と一緒に切符や入場券など、思い出の品も挟むことができるから。（47歳・男性）
- ・写真にコメントをつけたり、コラージュができたりして、かわいくアレンジができる。（38歳・女性）

子供の写真アルバムを作っている人（全体の約4割）にフォーカスし、アルバムの魅力についてたずねたところ、第1位「気軽に見返せる（72.8%）」、第2位「形に残せる（64.8%）」、第3位「思い出になる（60.2%）」、第4位「家族のコミュニケーションが生まれる（31.4%）」が上位となりました。

アルバムの魅力を感じたエピソードを尋ねたところ、「時系列に見ることで子供の成長を実感できる」「子供が大きくなった時に、一緒に見ることでコミュニケーションが生まれる」「回答者自身が、両親にアルバムを作ってもらって嬉しかった経験」などが多く寄せられました。

**アルバムの魅力は、写真を整理・管理しやすい利便性だけではなく、家族コミュニケーションのきっかけになる**という点が大きいようです。

#### 【調査概要】

調査の方法：WEB アンケート方式

調査の対象：0歳～9歳の子供を持つ全国の男女1,000名（男性500名、女性500名） ※有効回答数：1,000

調査実施日：2018年6月

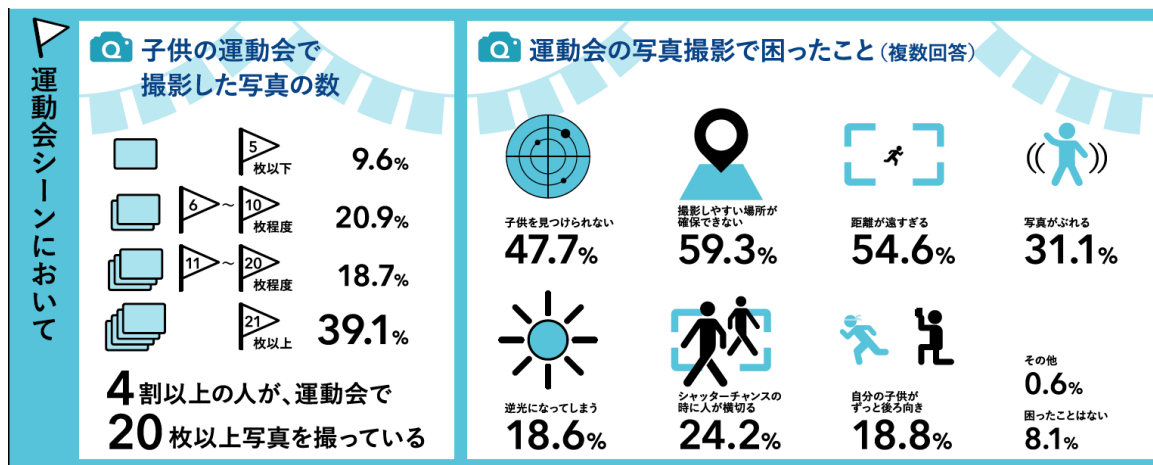
【お問い合わせ】ALBUS PR 事務局（株式会社オンヨミ）

MAIL：albus-pr@onyomi.jp TEL：050-3743-0062（中嶋）/050-3701-2155（漆畑）

【ALBUS 公式サイト】<http://albus.is/>

【参考データ：運動会の写真撮影について】

運動会の写真撮影で困ったこと上位は  
「撮影しやすい位置が確保できない」「距離が遠すぎる」「子供を見つけられない」



今年5月に子供の運動会があった人(N=603)に、運動会の写真撮影で困ったことをたずねたところ、第1位「撮影しやすい位置が確保できない(59.3%)」、第2位「距離が遠すぎる(54.6%)」、第3位「子供を見つけられない(47.7%)」などの回答が上位となりました。

今後、10月に子供の運動会が予定されている人は、「自分の子供をバッチリ撮影できる場所」に気がつけた方が良いでしょう。

※本リリース内容を掲載いただく際は、出典「ALBUS(アルバス)調べ」と明記をお願いいたします。

【保育学の専門家に聞いた「アルバムと子育て」の影響】

大阪教育大学教育学部 准教授(保育学) 小崎恭弘さん

※取材アレンジも可能です。下記お問い合わせ先までご連絡ください。

■プロフィール

兵庫県西宮市初の男性保育士として施設・保育所に12年勤務。三人の男の子それぞれに育児休暇を取得。それらの体験を持ちに「父親の育児支援」研究を始める。テレビ・ラジオ・新聞・雑誌等にて積極的に発信を行う。父親の育児、ワークライフバランス、子育て支援、保育研修等で、全国で年間50本程度講演会等を行う。これまで2000回の公演実績を持つ。

NPOファザーリングジャパン顧問、東京大学発達保育実践政策学センター研究員、日本都市センター「都市自治体保育・子育て支援研究員」、兵庫県男女共同参画委員、大阪府男女共同参画委員・地域福祉計画策定委員、西脇市児童館運営委員会、守口市子育て会議委員等。



■調査結果へのコメント

①結果考察：「子供本人が、自分が幼い頃の写真・アルバムを見て喜んでいる」

『青年期のアイデンティティ確立に、写真やアルバムは大きな役割を果たす』

子供の成長の一つの大きな節目は、青年期のアイデンティティの確立です。これは簡単に言うと「自分は自分である」という自己認識を持つことです。生まれた時、幼い時、子供の時があり、そして青年となった今、自分が存在している、という感覚です。これは幼少期の思い出があり、そしてその連続したつながりの中において出来上がります。その思い出を作り、また補強し強めるものとして、写真やアルバムは大きな役割を果たすでしょう。

幼い時の子供たちは自分の写っている写真を見るのが大好きです。ここには二つの意味があります。それは楽しい思い出の確認、再現をすることであり、その世界観に自分がどっぷりと浸る再経験をすることです。そしてもう一つは写真の中に自己の存在を見出し、自分と家族や友達とのつながりを確認する作業だと言えます。

【お問い合わせ】ALBUS PR 事務局(株式会社オンヨミ)

MAIL: albus-pr@onyomi.jp TEL: 050-3743-0062(中嶋) / 050-3701-2155(漆畑)

【ALBUS公式サイト】http://albus.is/

②結果考察：「子供のアルバムを作っている人のほうが、家族間のコミュニケーションが活発」  
『アルバムを作るといのは、子供や家族に対してポジティブな感情を持った行為』

アルバムを作るとい行為は、その前提として写真を撮る、写真を撮るような出来事や意欲があるということの結果できることです。この段階で既に、子供や家族に対して、ポジティブな感情を持った行為であるのです。同時にそれらを単に思っているだけではなく、実際に行動に起こし具現化しているとても意識の高い作業なのです。この家族や子育てに対するポジティブな感情や行為は、程度の差はあれ、家族に対するコミュニケーションの活性化の要因にはなるでしょう。

③結果考察：「子供のアルバムを作っている人のほうが、夫婦関係が良い・配偶者が育児に協力的」  
『アルバムを作ることで子育てを楽しむ感覚が生まれ、夫婦関係の良好性につながる』

アルバムを作る行為自体が、子育てや家族に対する愛情を表す一つの取り組みです。もし仮に「子育て」が本当に辛くて、思い出したくもないものであれば、わざわざアルバムを作る必要などはないのですから。そのように考えてみると子育てや家族に対してのポジティブな感覚は、その行為自体を豊かで楽しいものにします。子育てを楽しむ感覚は、夫婦関係の良好性やコミュニケーションの活性化につながります。特に現在は、育児にかろうとする父親も増えています。そのような父親の意識にも、夫婦の良好なコミュニケーションは大きく良い影響を与えることになるでしょう。

④結果考察：アルバムが育児・保育に与えるポジティブな影響  
『「思い出」「感情」はプリント写真のほうが優れている』

『写真を撮る・撮られるという行為が、子育てにおいて良い効果につながる示唆も』

これまでの調査からいくつかのことがわかってきています。プリントした写真はデジタルなデータと比べて、とてもエモーショナルな感覚を持っています。例えば、「思い出」「感情」などはデジタルより優れています。そのような効果により、写真やアルバムと子育てに対するポジティブな感覚との関係性が示唆されています。

また大学生を対象とした調査からは、自分自身が写真を家族に撮ってもらった思い出が多い学生が、そうでない学生より自立性や協調性の項目が高くなる傾向が示されました。写真を撮る・撮られるという行為が、子育てにおいて良い効果につながるということが示唆されたのです。これらの要因として、家族関係性や親の養育の意識や態度など、様々な理由が考えられています。

## ■ALBUS (アルバス) とは

大切なアルバムがいつのまにかできていく、毎月無料(※)の「ましかく」写真プリントができるアプリです。高画質「ましかく」写真プリントを、毎月8枚(※)ずっと無料でご注文可能です。利用していると、いつのまにか写真の整理ができ、別売の専用アルバムで大切な家族アルバムが作れます。

※配送料200円(税抜)が別途かかります。

※ご友人を招待すると毎月最大15枚まで無料となります。



○ALBUS 公式サイト <http://albus.is/>

○App Store <https://itunes.apple.com/jp/app/id1102311118>

○Google Play <https://play.google.com/store/apps/details?id=co.rollcake.albus>

【お問い合わせ】ALBUS PR 事務局(株式会社オンヨミ)

MAIL: albus-pr@onyomi.jp TEL: 050-3743-0062(中嶋) / 050-3701-2155(漆畑)

【ALBUS 公式サイト】 <http://albus.is/>